

見上げると
まい散る花が
勇気をくれる



友部小6年
と戸邊 せん那

支部だより ひがし

第166号

(令和5年)

発行日 2023年3月16日
発行 笠間市社協東支部
編集 広報委員会
印刷 有限会社 テクノプラン

コロナ終息を願う令和5年

年が明けてもコロナ感染は一向に衰えず、香取神社の初詣会と南友部地区のどんど焼きは、中止となりました。その中で高房神社の初詣会と五平地区のワーホイ祭りには、感染対策を十分に行い実施されました。早くコロナが終息し、これまでのように賑やかで楽しい地区行事を取り戻したいものです。

3年ぶりのワーホイ祭り

コロナ感染拡大の影響で中止になっていた五平クラブ主催のワーホイ祭りが、1月7日に開催されました。当日、



新春の青空に上がる炎

五平地区田んぼで5メートルの櫓が組まれて、家から出された門松やしめ縄が積まれ、五平子ども会の上級生3名により点火されました。青竹が弾ける音と共に、大きな炎が新春の青空に上がり、炎が小さくなると篠竹の先にモチを刺して焼いて1年の無病息災を念じて食べました。これからの地区の伝統行事を続けていきたいです。(斎藤義範)

高房神社初詣会

今年は風もなく穏やかな初詣となりました。除夜の鐘が鳴り始めるころから参拝の方々が訪れ始めました。境内は綺麗に掃き清められ、手水所や御神木にもしめ縄が飾られ、勢いよく燃えさかるたき火の灯りが、初詣の老若男女

の顔を照らしています。御神楽を聞きながら「今年も家族にとつて良い年になりますように」と、祈りました。参拝者には、甘酒やお菓子がふるまわれ、マスク越しにこやかな様子が見られます。そして、恒例のお楽しみ会も行われ、引き当てた商品を手に入れたVサインの記念撮影をしている親子連れの姿も見

配食サービス

11月27日に地域福祉センターともべで、各ブロックの女性部員が集まり、115食のお弁当を作り上げました。弁当の中はタンンドリーチキン、切干大根の煮物、青菜のごま和えで、仕上がったお弁当は民生委員さんの手によって高齢者に届けられました。(藤枝徳子)



久しぶりの手作り弁当



マスク越しの初詣

(友部淳子)

準備にあたられた当番並びに神社総代の方々に感謝を申し上げるとともに、今後とも関係する方々は大変でしょうが、思い出に残る地域の伝統行事が、子供たちに受け継がれていくことを願っています。

女性部調理実習

女性部部长 橋本 八重子

2月1日、今年度2回目の調理実習を行いました。前回はお肉がメインでしたが、今回はお魚メインに栄養士の田中先生と献立を考えました。実習の前に先生より配食弁当の作り方や注意点、食中毒についてなどのお話を聞いてから調理開始。皆さん現役の主婦ですので手際よく次々と料理を完成させ、盛り付けへ。美味しそうなお弁当の完成です。

コロナ禍ですので、お弁当は帰ってから食べることにし、感染対策をしっかりしながら実施しました。

女性部研修会

女性部部长 橋本 八重子

12月6日「地域福祉センターともべ」で3年ぶりとなる女性部研修会を行いました。

「健康作り栄養」についての講座を聞き、血管年齢、ベジチェック(野菜の摂取量)の数値を調べてもらいました。思ったより数値が出ずがっかりする人、満足のいく数値でニッコリする人、さまざまでした。その後、ハーモニカサークルの方々の演奏曲を口ずさみながら、楽しいひとときを過ごしました。

笠間の「新」と「旧」を訪問

3年ぶりの福祉推進員研修
東ヶ丘区 栗原 四郎

2月8日、コロナ禍3年ぶりに地元笠間の「伝統」と「最先端」を巡る福祉推進員研修会が行われました。「伝統」は笠間焼です。県立笠間陶芸大学を訪ねて笠間焼の歴史を勉強しました。最初はかめ、すり鉢から始まり、250年の時を重ね食器やインテリア製品等に広がり、陶器の表現力と豊かさと歴史を知ることができました。「最先端」は、食器から自動車等すべてのプラスチック製品の金型トップ企業キャノンモールドです。友部地区には6事業所がありました。友部SA前工業団地に集結した最新の金型工場を見学しました。見覚えのあるお菓子や部品の金型が全自動の機械で造られていることに驚きました。

途中「道の駅かさま」にも寄り、大変勉強になりました。



キャノンモールドのロビーにて

社会福祉大会で 2名が受賞

福祉関係者を集めた第9回笠間市社会福祉大会（社協主催）が、2月11日、笠間公民館で開かれ、福祉功労者の表彰や講演が行われました。

東支部からは鈴木義雄支部長、広報委員会の内桶道子副委員長が、永年の功績により社協会長表彰を受けました。



鈴木さん(左)と内桶さん(右)

生きがい

書道教室とボランティア活動

飯田2区 西澤 暉雄

自宅でささやかな書道教室を開いており、自分の作品を掛け軸にして床の間に月替わりに掛けて楽しんでいます。

定年退職時に取得した「健康生きがいづくりアドバイザー」の資格を活かして水戸市内の遊休農地を借り、有機・無農薬栽培でじゃがいもや蕎麦作りを二十数人で楽しんできました。その活動を通じて東日本大震災・原発被災者の支援活動も行いました。

笠間市では5つのボランティア活動をしています。①一人暮らしの人にお弁当を作って配食する男だけの「配食みちくさ」、②一人暮らしの人に毎月1回電話で安否確認をする「ふれあい電話」、③シルバリーハビリ体操2級指導士として「五平公民館体操教室」を主宰、④高齢者介護施設等



作品の書を前に

にボランティアで手打ち蕎麦を提供する「笠間麺友会」、⑤五平地区のサロン「サロンde五平」の運営委員。これらのボランティア活動は「世のため、人のため」といった高尚な理念からではなく、「面白そうだからやってみる」といった感じなんです。

定年後に長野県から茨城県に移住し十数年、ボランティア活動を通じて多くの人脈を築くことができ、すっかり茨城県に溶け込むことができました。

（鈴木龍子）

女性部新年会

女性部部長 橋本 八重子

1月22日「地域福祉センター」ともべで、3年ぶりの女性部新年会を実施しました。41名の女性部員が参加し、童心にかえり賑やかに、輪投げゲームを楽しみました。グループ対抗戦で行い、初めての方も多く真剣な表情で激戦が交わされ、3位までには豪



的棒に上手く入らないね！

華(?)な賞品が手渡されました。その後、ビンゴゲームで楽しみました。ビンゴの声が上がると大盛り上がり、久しぶりに楽しい時間を過ごしました。

立て看板 新品交換

鴻巣隧道の立て看板が、関係者のご尽力で新しくなりました。これからは交通ルールを守り、安全な生活を過ごしましょう。

（内桶道子）



見易くなった
立て看板



来年度6月までの予定

4/16 (日)	令和5年度代議員会
	女性部総会
5/ 7 (日)	第1回支部役員会
6/14 (水)	第2回輪投げ大会
6/25 (日)	子ども会交流懇談会
6月	女性部 対話と食事会

以上予定しておりますので、多くの参加をお待ちしております。

東支部から この1年を 振り返って

会計 宍戸 正実

今年度も残りわずか、3年目のコロナ禍に悩まされた1年でありましたが、コロナ感染に注意しながらも実施することが出来た各種行事は、6月輪投げ大会、10月ふるさと福祉バザー、11月グラウンドゴルフ大会、西飯田三世代グラウンドゴルフ大会、1月高房神社初詣の会、五平地区ワイワイ祭、2月福祉推進員研修等、また残念ながら宮前鴻巣子供神輿、五平地区盆踊り大会、五平盆綱、柿橋運動会、南友部子供みこし祭、香取神社初詣会、南友部どんど焼き等は中止となりました。

来年度は4年目のコロナ禍も克服し、全て実施できる年であって欲しいと願うばかりです。

神田英雄水彩画展

柿橋北区に住む神田英雄さんは11月23日から12日間、友部図書館ギャラリーで水彩画を展示しました。神田さんは25年前から水彩画の通信教育を始め、その後、職場近くの水彩画教室に通い、水彩画展は2回目です。



茨城百景の一部

編集あとがき

今年度から広報紙の印刷をお願いしている(有)テクノプラさん、編集会議に出席いただくことになりました。印刷会社が出席するきっかけは、中央支部との交流会（第162号）で、中央支部が編集会議に印刷会社を交えて編集作業をしていることを知ったことです。編集会議に印刷会社に加わることで、プロから見る広報紙の紙面作りをすることができ、以前に比べ、広報紙がより見易くなったことと思います。

（内田利二）